

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援BAMBOOHAT KIDS深谷駅前教室		2025年 2月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・指定基準以上のスペースを確保して支援しています。 ・集団活動ではお子さんの人数や活動内容によって2箇所に分かれたり、時間をずらしたりしながら支援を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・人員基準以上の職員を配置し、マンツーマン以上の支援を実施しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・事業所内の一部はバリアフリー化されていますが、一部段差もあります。また2階へ移動するため階段を使用しています。触れてはいけない場所や手をはさむ等事故のリスクが高い場所にはイラストを用いて情報を伝えるための掲示をしています。 ・ロッカーや下駄箱、手洗い場等には文字やイラスト、写真での掲示があり、お子さんがわかりやすいように配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・おもちゃなどが散乱していることはなく、清潔な環境になっています。 ・毎日、掃除、整理整頓の時間を設けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・必要に応じて、個室や仕切りを使ったスペースで学習や支援プログラムができるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・業務開始前と業務終了後のミーティングにて、支援の振り返り、個別の目標設定及び評価を行い、次の支援の計画を立てます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者向けアンケート調査を毎年実施し、いただいた意見を職員で共有し、その改善に努めています。	・このアンケートのほか、保護者様より意見を伺い、業務改善に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・支援や業務についていつでも質問や相談ができる環境があります。 ・月末に上長とのミーティングがあり、そこで話をする事ができています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・法人の運営経営についての第三者による評価を行っています。事業所については実施予定はありません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・虐待防止委員会、感染症対策委員会等が設置され、それぞれ定期的に研修が実施されています。事例検討による研修も行っております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・弊社ホームページ、ブログにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・定期的なアセスメントを行い、ニーズや支援の進捗等をふまえた計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・こどもの支援に関わる職員で共通理解ができるよう、計画書の更新に関わる面談の前後に会議を行い内容を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・誰でもすぐに計画を確認できるようにし、日常的に支援計画の振り返りを行って支援しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・支援時の様子を行動観察シートへ記載するほか、保護者へ日常の様子の記録を依頼しながら確認しています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・支援に必要な項目を適切に設定し、支援方針について具体的な方法を設定して実施しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・過去の支援状況をふまえながら、支援プログラムをミーティングにて決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・個々の支援の進捗状況を常に記録し、振り返りを行いながらプログラムの見直しを定期的に行い改善を進めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・お子さんに合わせて個別活動、集団活動を含めた支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・開始前には必ずミーティングを実施し、前回の課題をふまえた支援の確認や役割分担、注意事項等を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・終了後にはミーティングを実施し、支援の振り返り、次回の支援準備等について記録を残し情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・支援記録を毎回記録しています。活動内容、個別の課題等の記入欄の他、行動の回数記録表などを用いて支援の検証・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・期限内のモニタリングの実施と計画の見直しを行います。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・管理者及び児童発達支援管理責任者が中心となり参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・園や保護者よりご相談をいただいたり、連携が必要な方がいた場合には積極的に連携を図っていききたいと思います。	・今後、セルフプランの方については、事業所間連携を行っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・保護者を通じて実際に園の先生とお話させていただき連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	・今までに移行支援を行ったことがありませんが、今後移行支援を行う場合には、支援内容などの情報共有を図っていききたいと思います。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
		(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4	・現状では児童発達支援センターとの連携はありませんが、今後必要に応じて連携を図っていきます。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・今までに交流を行ったことはありません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・当日の支援内容やできるようになったことなどを報告し、保護者からも状況をお伺いしています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・ペアレントトレーニングは保護者の方のご要望や支援状況によって案内しており、実際の支援場面を見ながら解説させていただく機会を設けております。お電話でのやり取りを行わせて頂くこともあります。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約の際にご説明しています。運営規程は、玄関入口にも常設しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・計画作成の際は面談を行わせていただき、保護者からお話を伺い意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・原則、児童発達支援管理責任者が説明を行い、同意を頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・モニタリングの時期のほか、保護者から相談があった場合には、相談の機会を用意し、できる限りの助言や支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	・保護者会は開催しておりませんが、法人としてご利用いただいているご家族の方も参加可能な講演会を開催しております。	・今後も、法人として交流できるような機会を設定していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・相談や申入れがあった場合には、速やかに体制を整備したり、面談の機会を設けるなどの対応をしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・日常の連絡は連絡帳アプリを使用しております。また、ニュースレターやブログ、LINE、Instagram等のSNSを運用しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・鍵を施錠できる場所に保管など、注意して対応しています。	
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・お子さんとは絵カード等を用いて言葉を促すなど意思の疎通が図れるように支援を行い、保護者とは送迎時や連絡帳アプリを使用し具体的な支援の報告をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・当事業所では実施しておりませんが、法人内の事業所でバザー等を企画実施しております。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・策定し、職員がすぐに手に取れるところに設置しています。年2回以上の避難訓練及び防犯訓練を実施しています。	・契約時等で、策定されていることをご説明し、訓練実施の報告も連絡帳アプリやブログ等を通じて行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・策定し、職員がすぐに手に取れるところに設置しています。定期的に必要な訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・契約時にお子さんの状況を確認させていただき、また、利用期間中に状況が変わった場合は、随時確認してから受け入れさせていただきます。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・指示書は特に頂いておりませんが、保護者からの情報で対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・策定し、職員がすぐに手に取れるところに設置しています。定期的に必要な訓練を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時にご説明しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット記録を作成し、再発防止に向けた方策を話し合い記録しています。ファイルに綴り、共有できるようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待を防止するための研修に積極的に参加しています。事業所内にはモニターカメラを設置し、防止に努めています。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・現状の支援では必要性がないと感じていたため、特別に取り組んでいません。今後、その可能性がある場合には、保護者と相談して適切に対応していきます。	
--	----	--	---	---	--	--